

1657

はが4世行

片が分けてしといると

昔の思ひ地を
昔の本流の流

昔 くれの天ノしじり時 天にみえりて

干すの尺必 天に下の下にしいてりて

新用をよんでしり

去年はこれ存ことがありと

存わく 此帯が有りてあり

今もまうとく同じで

へんがーに手のとどかるとりて

あらしとむらえい

ニとは何なりと見え

歩 歩とあもしろと 昔の夕夕のシー

と回して石

物にまうては ていはいと 下んでしる

すこももりき 多し 二れはとつてあ

もあふ 更に

二れは知りてあり

波の金理学の音階階下のママ

の程も去つてあり

二れを実行してりて 少しは若かた

残りのと残念に思う

昨日も今日も

半日はあつ果石物を見つうたついやす

てとこれどけつううたうれしい

しほうくはとどかすの物を

あつしつものい ~~あつしつものい~~

はかやと果石しつう

あつ果石文字をばつていどと漢字をばつて

いど 今より少し利巧だつたようだ

23
2/24